

令和5年度 第2回安曇野市スポーツ推進審議会 会議概要

- 1 委員会名 令和5年度 第2回安曇野市スポーツ推進審議会
- 2 日時 令和5年9月28日(木) 午後2時00分から午後5時00分まで
- 3 会場 安曇野市役所本庁舎3階 共用会議室301
- 4 出席者 赤羽委員、審議委員、松田委員、布山委員、審議委員、唐澤委員、審議委員、  
審議委員、審議委員、丸山委員、倉田委員、  
※出席委員総数：11人
- 5 欠席者 猿田委員、藤岡委員、古幡委員
- 6 市側出席者 大月課長、小平係長、廣田
- 7 公開・非公開の別 公開
- 8 傍聴人 0人 記者 0人

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
- 1 開会
- 2 委嘱書の交付
- 3 あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 会長及び副会長の選出
- 6 協議事項
  - (1) 第2次安曇野市スポーツ推進計画について
  - (2) 第2次安曇野市スポーツ推進計画の中間見直しについて
- 7 その他
- 8 閉会

## 施策検討

### (1-1) コーディネーショントレーニングのさらなる推進

安曇野市スポーツ推進計画記載のとおり、スポーツを好きと感じてもらえる環境づくりが大事であり安曇野市ではコーディネーショントレーニングに力を入れている。

目標指標の数値が p.19 に記載されているが、学校調査のデータを確認したところ、小学校平均と中学校平均で差があり R4 小学校平均 65.2%、中学校平均 57%であり、これらを踏まえ改定案について説明

#### 【質疑・応答】

(審議委員) 「こども園も含めた」というように記載してみてはどうか

については「教職員」という記載について、幼児教育にかかわる保育士等も含めてみたら良いのではないかと

また、教職員等が資格を取るのが最善であるが、教職員の負担が大きくなるため、研修の充実という点で補ってもらいたい

(事務局) そのように記載を改めたい

### (1-2) スポーツ少年団活動への支援

スポーツ少年団の団体・団員数について資料1に基づき説明したうえ、改訂案について説明

#### 【質疑・応答】

(審議委員) 令和4年度の金額は1人あたりの数字だと1860円だが、今後どのようにしていくのか

(事務局) やったことに対しての補助金支給という方式に変更になった

補助対象になる活動をした団員のみ補助金が支給されるため、一概に一人当たり支給となるものではないので一人当たりの数字を算出してもあまり意味がない

(審議委員) スポーツが地域の青少年の健全育成につなげたいという趣旨から、改定案文中の「子供」を「青少年」としてもらいたい

(事務局) 地域性についての文章を盛り込めるよう検討する

(審議委員) 改定案に「スポーツ協会との連携を図り」とあるが、これまで連携が図られていたのか

(事務局) これまで県や国のスポーツ少年団と活動してきたが、これらのスポーツ少年団はスポーツ協会からの委嘱を受けているため、これまで連携して活動を行ってきたといえる

### (1-3) 親子参加のスポーツ体験企画の充実

資料1の施策内容、実施状況を踏まえ、施策内容の改定案について説明

#### 【質疑・応答】

(審議委員) 競技性にこだわることなく、親子で楽しいと思えるスポーツの機会は貴重なものな

ので、そのような機会を是非設けてほしいと思う

(1-4) 「生涯の健康づくり」の意識を取り入れた学習の機会の提供

実施状況を見ると、中学生の運動能力が年度により全国平均を下回る年もあれば上回る年もある。  
このことを踏まえ、改定案について説明

【質疑・応答】

なし

(2-1) 軽スポーツ推進への重点化

p. 20 参照。運動機会の少ない子供、高齢者に標準を合わせ、競技人口が少なく誰もが気軽に参加しやすく体を動かすことができる体操等の軽スポーツがあげられる

実施状況としてポッチャ体験会などを実施 参加者数の目標指標を200としているが、令和4年度は154人となっており、これらを踏まえ改定案について説明

【質疑・応答】

(審議委員) 他部署イベントでの開催とはどのようなものか

(事務局) 安曇野市役所主催のイベント以外においてブース等を出店し、軽スポーツを楽しむ機会を設けていく予定である

(審議委員) 施策名に違和感がある

次項にある「競技スポーツの気軽な体験機会の充実」と内容が類似しているため、施策名は「軽スポーツの気軽な体験機会の充実」としたらどうか

(事務局) 軽スポーツと競技スポーツで線引きをし、それぞれでの施策を策定した

(審議委員) 楽しんでする卓球や競技としての卓球がある。厳密に線引きをする必要はないのではないか。どちらでもいいから楽しんでみてほしいという趣旨であるなら、施策名を統一したほうがわかりやすいのではないか

(倉田委員) 私はママさんバレーの競技部に所属している。競技バレーもするし、地区のお楽しみのバレーもする。分ける必要はないのではないかと思う

(事務局) 資料1の2-1、2-2を一つの括りとして統合するという意見として承った

(2-3) 「ウォーキング」ニーズに応える新たな取り組み

施策内容、対応方針について説明

【質疑・回答】

なし

(3-1) 成人のスポーツ参加を促す教室や講座の開催・拡充

p. 21 基本施策3 ライフステージとニーズに応えるスポーツの場づくり

実績は実施状況のとおりであり、これをふまえ改定内容について説明

【質疑・応答】

(事務局) 親子で参加するスポーツの参加者数について目標数が600であるところすでに超えてしまっている

推移については実施状況のとおりであり、600という数字を変更したい

(審議委員) 常に募集定員を上回った申し込みがあって、お断りしなければいけない状況が多いのかそうでないのか、それによって600人という数字が妥当なのか検討したい

(事務局) 上回っており、抽選となっている

(審議委員) 目標を増やしても良いのではないか

### (3-2) 大会参加への支援

施策内容、実施状況、改定案について説明

#### 【質疑・応答】

なし

### (3-3) 市民のスポーツ参加への関心を高めるしかけづくり

施策内容、実施状況、改定案について説明

#### 【質疑・応答】

(審議委員) 定期的に活動をしている人にポイントを与えてもあまり意味がないと感じる  
少し空いた時間で体育館を使用して楽しみたいという人にポイントを与えたい  
定期的に市民が気楽に使える時間帯等を設けてみたら良いのではないか  
また、ポイントを与えることに抵抗を感じる、どのようなポイントなのか

(審議委員) 参考として、来年の3月31日までの休日でANCアリーナが使用できる日は3月31日のみである。R5年4月からの稼働率はサブアリーナで57%、メインアリーナで55%であり、昼間はほとんど空いている  
利用を促進するためには昼間に先生に来ていただいて、そんなに高くない価格でスクール等を実施するのが良いと感じる  
得点付与での利用促進では難しいのではないか

(事務局) 昼間の空いている時間にスクールを開催する人たちに補助金等を支給すればどうか

(審議委員) 人気のスポーツとそうでないスポーツがあるので、一概に補助金を支給しても促進されるとは限らないと思うが、そのように昼間の空いている時間の利用促進について考えるべきである

(審議委員) 開催者側と利用者側の両方の対策が必要だと感じる

昼間の利用促進に加えて、減免利用の団体に利用制限を設けるのを方針として考えるのはどうか

(事務局) 改定案を「スポーツ施設の利用や教室等への参加を官民連携で検討します」とし、具体的な内容は今後検討し、次回会議で事務局としての案を提示する

### (4-1) 市民ニーズに適合したスポーツ情報のさらなる発信

p. 22、情報発信についての区分であり、回覧板以外での情報発信について検討する  
目標指標は広報紙・HP・ツイッター等を用いた情報発信であり、施策内容、実施状況について説明し、  
改定案を説明

**【質疑・応答】**

(審議委員) 情報発信回数が指標となっているが、HP やツイッターでの発信はデジタル媒体であるため、多くの人に興味を持ってもらえているか検証が可能だと感じる  
例えば、「いいね」の数やリツイートがどれだけされたか、アクセス数等から検証するのが良いのではないか

(審議委員) 観光課では明科周辺の PR を積極的に行っている。そういったものと絡めてスポーツ関連のものも発信していけばよいと感じる。情報を取得する機会を増やしていく取り組みが必要か。

(審議委員) アウトドアスポーツは気候等によってコンディションが逐一変わるため、情報発信はまめに行っている。また、発信する際のターゲティングや時間なども分析して工夫していくべき。

(事務局) 5年後の改正に向けて指標にするかどうかについて検討する

(審議委員) 次項の「ポータルサイト設置・運営、SNS を活用した発信の検討」と合わせてよいのではないか

配信時間、どこをターゲットにするかをデータ解析に合わせて研究してもらいたい

(事務局) 次項と統合することとする

(4-3) 官民連携での発信の検討

施策内容について説明

**【質疑・応答】**

(事務局) 前2項の項目にこの項目も含めてよいのではないかと思うがいかがか

(審議会委員) 賛成である

(5-1) 既存施設の部分改修による快適性・利便性の向上

p. 23、施設の改修を望む声は常にあり、それにいかに応えていくかという項目である

目標指標はアンケートによる満足度であり、過去に調査は実施されていない

目標指標として「スポーツをする環境が整っていると思う市民の割合」という指標を新たに追加したい

利用者の視点に加えて一般市民の視点としてこの指標を追加したい

実施状況、改定案について説明

**【質疑・応答】**

(審議委員) 改定案にユニバーサルデザインという単語が入っていない

(事務局) 特に意図的に外したわけではない。加えるようにする。

(5-2) 新規施設の整備と既存施設の大規模改修等

施策内容、実施状況、改定案について説明

【質疑・応答】

(審議委員) 前項との差異が分からないため、本項と統合したらどうか

(事務局) 統合して再作成する

(審議委員) 施策3では参加を促進する環境づくりという参加者の視点だったが、施策5までをトータルすると稼働率をどう高めていくか、マネジメントする側が平日をどう使うか、施設を多機能化するということが重要だと感じる

施設のマネジメントを効率化するというを文言として盛り込むことを検討するのが良いのではないかと感じる

(事務局) 検討する

(5-3) 市内体育施設の統廃合等の将来計画の具体化

施策内容、改定案について説明

【質疑・応答】

なし

(6-1) スポーツ指導者研修会の拡充

p.24、施策6「地域で支えるスポーツ推進体制の基盤づくり」、目標指標はスポーツ指導者養成講座の開催数、指導者連絡協議会の設立である

講座は年に1回開催しており、協議会の開催はなし

施策内容、実施状況、改定案について説明

【質疑・応答】

なし

(6-2) 指導者に関する情報の整理

施策内容、実施状況、改定案について説明

【質疑・応答】

なし

(6-3) 部活動指導員制度への対応

施策内容、実施状況、改定案について説明

【質疑・応答】

(審議委員) 中学校部活動検討委員会を毎年実施し、現状を確認しながら地域移行をした方が良いのではないかと感じる

(審議委員) 現在は行われていない、現状について指導者側の資格が重要だと感じるが、どのように指標化していくのかは明確化されていない

(審議委員) 指導員に関してはJ社<sup>※</sup>の指導者資格がメジャーであるため、行政も進んで情報発信と後押しに努めていくべきかと感じる

(事務局) 資格取得の助成金の現状について承知

(6-4) スポーツ指導者連絡協議会の設立・支援

実績については未実施となっており、取りやめとする

この項目については削除とする

**【質疑・応答】**

(審議委員) 様々なスポーツがある中で、それぞれで良いところが吸収できる連絡協議会が必要だと感じるがいかがか

(事務局) 取りやめにするに至ったこれまでの経過を調査する

(6-5) 指導者・ボランティアの育成支援

施策内容、実施状況、改定案について説明

**【質疑・応答】**

なし

(6-6) 人材情報の有効活用

施策内容、実施状況、改定案について説明

**【質疑・応答】**

(審議委員) 6-3の項目と統合させれば良いのではないか

(事務局) 承知した

(6-7) 資格取得の支援

施策内容、実施状況、改定案について説明

**【質疑・応答】**

なし

(7-1) 健康長寿の視点からのスポーツや身体活動に関する情報の整理と発信

p. 26、基本施策7「健康増進に関わる多様な主体の連携強化、目標指標は健康づくりに関する町内連絡会議の開催」についての項目であり、これまで連絡会議は実施されていない

改定案について説明

**【質疑・応答】**

なし

(7-2) 健康増進に向けた民間組織との連携策の検討

施策内容、実施状況、改定案について説明

**【質疑・応答】**

(審議委員) 前項 7-1 と統合させればどうか

(事務局) 承知した

(8-1) 既存クラブの運営等への支援

p. 28、基本施策 8 「総合型地域スポーツクラブの運営支援と新たな対策の具体化」、指標目標は総合型地域スポーツクラブの参加者数である

どの人数を計測したかどうか不明確であり、目標指標である「480→1000」という数値が妥当なものかどうか確認願いたい

**【質疑・応答】**

(審議委員) 総合型地域スポーツクラブに参加している人数と計画した事業に参加した人数を合算したところ、令和 4 年度の数字が 636 人であった

計測する人数については現在伝えた算出人数で良いと思う

(事務局) その人数で改めて算出する

(8-2) 既存のスポーツ推進体制の改善

施策内容、実施状況、改定案について説明

**【質疑・応答】**

なし

(9-1) 障がい者スポーツの体験の機会と発信の充実

p. 29 基本施策 9 「障がい者スポーツを広める場と体制づくり」、目標指標は障がい者スポーツ教室・イベントの開催数

指標である「イベントの開催数」を「参加者数」に改めた方が良いのではないかと感じるがいかがか 9-1 について改定案を説明

**【質疑・応答】**

(審議会委員) 修正点については賛成

ほか質疑等なし

(9-2) 障がい者スポーツの推進体制の構築に向けた基盤づくり

目標指標として「県障がい者スポーツ大会参加者数」を追加したい

9-2 について改定案を説明

**【質疑・応答】**

(審議委員) 前項 9-1 の項目と統合して 1 つの項目にすればどうか

(事務局) 承知した

(10-1) スポーツ交流イベントへの参加拡大

p.30、基本施策10「豊かな環境を活かしたスポーツ交流」

目標指標は環境を活かしたスポーツイベントの開催数であるが、参加者数に修正したい

10-1の改定案について説明

**【質疑・応答】**

(審議会委員) 修正点について賛成

(審議会委員) 商工観光スポーツ部という部署の名前から、観光とスポーツをリンクした施策にした方が良いのではないかと

組織が変わったことを念頭においた改定案にした方が良いのではないかと

(事務局) 実施計画の内容を確認し、修正できるのであれば修正する

(10-2) 自然を活かしたスポーツを通じた交流の拡大

施策内容、改定案について説明

目標指標として、「アウトドアスポーツ拠点整備箇所数0→1」を追加したい

**【質疑・応答】**

(審議会委員) 指標を追加した意図が分からない

(事務局) 市長の施策である「アウトドアスポーツの聖地化」について、明科東山の整備を行っており、総合計画の目標値として拠点整備の数値が明記されているので、推進計画においても重要視するという意図である

(審議会委員) 理解した

(審議会委員) 観光とスポーツはリンクしないという考え方もあると思うが、商工観光スポーツ部に統合されたことは、市として観光とスポーツを絡めて推進していくという意図があるのだと思う。施策の中でもそれを踏まえて、観光とスポーツを併せて押し出していくという部分を強調して書く必要はないのか。スポーツ推進というものは、対外的（市外）にスポーツをPRする目的もあれば、市民に対するスポーツを普及・促進するという目的もある。そこは分けて考えなくても良いのか？

(事務局) 市の基本施策を踏まえたうえで表現の方法を検討する

(11-1) 高い技術に触れる機会の充実

p.31、基本施策11「する」「見る」スポーツを通じた多様な交流の拡大、目標指標は国内トップレベルの試合数の誘致

改定案について説明

**【質疑・応答】**

(審議会委員) 国体開催、スポーツの普及を「支える」という観点も必要ではないかと

(事務局) 基本施策に盛り込みたいと思う

(11-2) 安曇野市民スポーツ祭の改善

施策内容、改定案について説明

**【質疑・応答】**

なし

- (11-3) 新総合体育館整備を契機にした市内スポーツイベントの整理・統合、拡充  
施策内容、改定案について説明

**【質疑・応答】**

なし

- (12-1) 東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンの取り組みの推進

p.32、基本施策12「東京五輪・長野国体準備を通じた各種交流」

コロナウイルス流行によって当初の目標は達成できなかったものの、オンライン活動等によりある程度の実績は残すことができた

事業については完了とする

**【質疑・応答】**

なし

事務局からの参考事項

11月に中間報告の推進会議を実施し、その後にパブリックコメントを募り、2月に報告会を実施する。

3月に報告会を行うと告知していたが、変更とする